

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年1月7日（水）

2 確認箇所

3、4号機原子炉建屋、タービン建屋周辺（図1）

3 確認項目

No. 4、No. 5中継タンクの状況

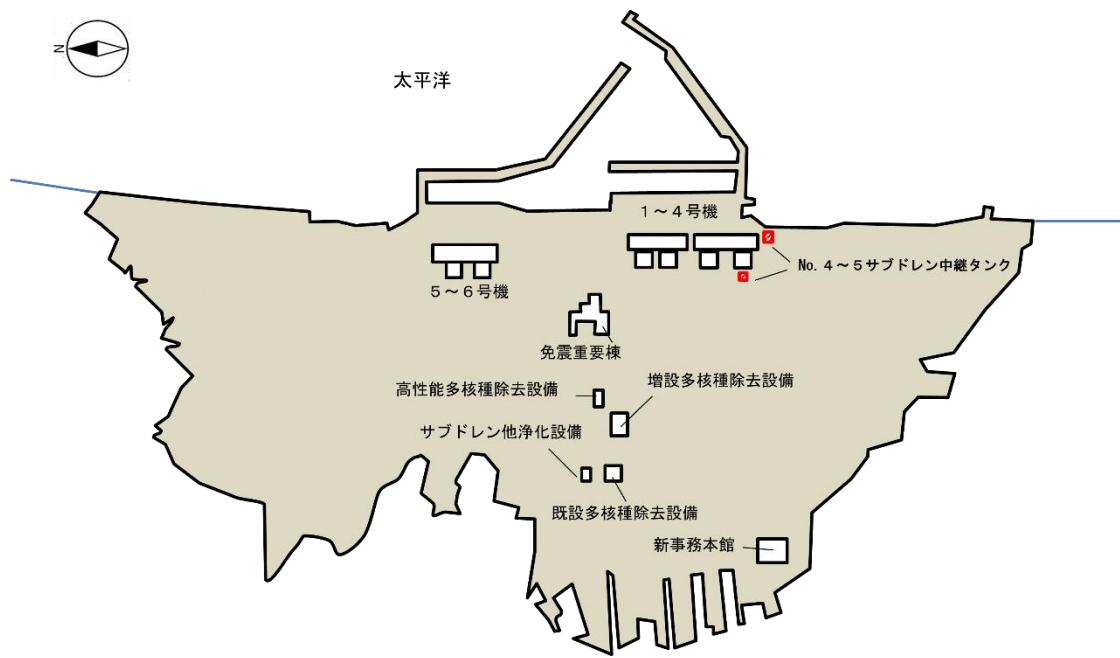
4 確認結果の概要

東京電力は、地下水が原子炉建屋等へ流入することにより増加する汚染水の量を低減する対策として、サブドレンを設置している。

サブドレンは、原子炉建屋周辺の地下水を汲み上げて浄化・排水することにより、建屋へ流入する地下水量の低減を図る設備である。サブドレンピットから汲み上げられた地下水は、サブドレン中継タンク及びサブドレン集水タンクを経由した後、サブドレン浄化設備において浄化されている。

今回は、サブドレン中継タンクの保守作業が実施されていることから、その状況を確認した。（No. 4中継タンクの前回確認：令和3年2月17日）

- ・No. 4中継タンク及びNo. 5中継タンクは、いずれも波板製の小屋内に設置されていた。（写真1）
- ・現場確認時、No. 4中継タンクにおいて、移送ポンプ前段に設置されている、ストレーナー（ろ過器）の清掃が実施されていた。（写真2）
- ・現場確認時、No. 5中継タンクにおいて、サブドレン中継タンク底部に滞留している土砂の回収作業が実施されていた。当該作業にあたり、作業員がサブドレン中継タンクや車両荷台に登る際には、墜落制止用器具を着用して作業が行われていた。（写真3）
- ・サブドレン中継タンクの周囲には、万が一の漏えいに備え、堰が設けられていた。
- ・No. 4中継タンクの堰内には、雨水が深さ1cm程度溜まっていたものの、確認した範囲において、サブドレン中継タンク、配管、弁等からの漏えいは確認されなかった。
- ・No. 5中継タンクの周囲について確認したところ、漏えい等の異常は認められなかった。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1-1)
No. 4 中継タンク小屋外観



(写真 1-2)
No. 4 中継タンクの設置状況



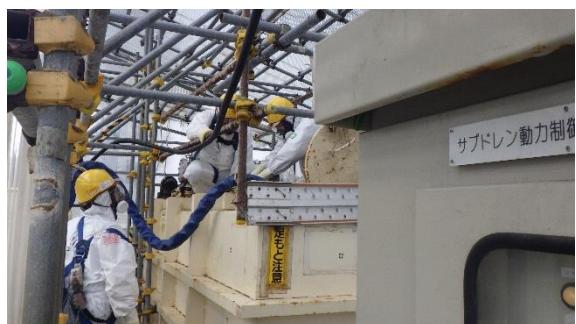
(写真 1－3)
No. 5 中継タンク小屋外観



(写真 1－4)
No. 5 中継タンクの設置状況



(写真 2)
ストレーナーの設置状況



(写真 3)
土砂回収作業の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。